

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

施策名	橋梁新設事業		
-----	--------	--	--

施策体系名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
-------	-------------------------------------	--	--

決算額	10,920千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源	10,920千円
-----	----------	------	--------	------	----------

【施策の概要】

- 歩行者の安全を確保するとともに、歩道の連続性の形成を図りました。
新町橋人道橋橋梁下部工事

[平成22年度]

財源内訳 一般財源 10,920千円 (単位：千円)

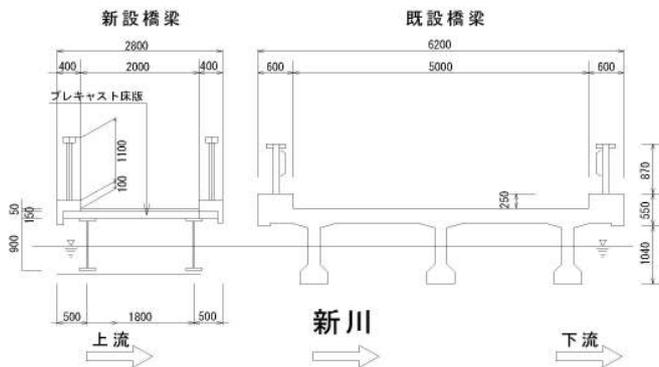
区 分	事業費	概 要
人道橋桁設置工事	10,920	L=31m
計	10,920	

[平成23年度への繰越]

財源内訳 一般財源 16,380千円 (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
人道橋桁設置工事	16,380	L=31m
計	16,380	

標準横断面図



【施策の成果】

橋梁（人道橋）下部工事を実施することにより、橋梁新設事業の整備促進を図りました。

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

施策名	道路新設改良事業		
施策体系名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	945,354千円	財源内訳	国県支出金等 767,396千円 一般財源 177,958千円

【施策の概要】

- 日常生活の利便性の向上及び生活環境の改善のための
- ・幹線道路，その他の市道の拡幅改良及び舗装工事
 - ・歩行者及び自転車通行の安全確保のための交通安全施設工事

[平成22年度]

財源内容 国県支出金 94,230千円 市債 542,900千円 一般財源 165,478千円
交通安全対策特別交付金 7,366千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
測量設計委託	92,487	38件 延長 9,408m
道路改良工事	524,804	40件 延長 6,772m W=4.0~10.5m
交通安全施設工事	7,366	11件 ガードレール等
用地取得費	61,171	15,804㎡ 34路線
物件移転補償費	106,480	立木・工作物・電柱移設費等
役 務 費	15,724	鑑定料・登記料 (路線)
事務費等	1,942	
計	809,974	

[平成21年度からの繰越]

財源内容 国県支出金 0千円 市債 122,900千円 一般財源 12,480千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
道路改良工事	135,380	13件 延長 2,028m W=4.0~6.0m
計	135,380	

[平成23年度への繰越]

財源内容 国県支出金 44,270千円 市債 129,100千円 一般財源 28,602千円

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
道路改良工事	201,972	20件 延長 3,325 m
計	201,972	

道路整備状況 (H23. 4. 1現在)

※ 市道全体延長	1,504,675	m	(6,864 路線)
改良済延長	688,190	m	(改良率 45.74%)
舗装済延長	1,149,880	m	(舗装率 76.42%)



市道神立中央二丁目1号線



市道沖宿131号線



市道乙戸22号線



市道大岩田110号線



市道沖宿14号線



市道新治Ⅱ級4号線

【施策の成果】

幹線道路や狭隘な市道について、拡幅改良、舗装及び交通安全施設工事を実施することにより、道路網の整備促進を図り、生活環境の向上に寄与しました。

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

施策名	踏切歩道新設事業		
-----	----------	--	--

施策体系名	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり		
-------	-----------------------------	--	--

決算額	108,901千円	財源内訳	国県支出金等	99,300千円	一般財源	9,601千円
-----	-----------	------	--------	----------	------	---------

【施策の概要】

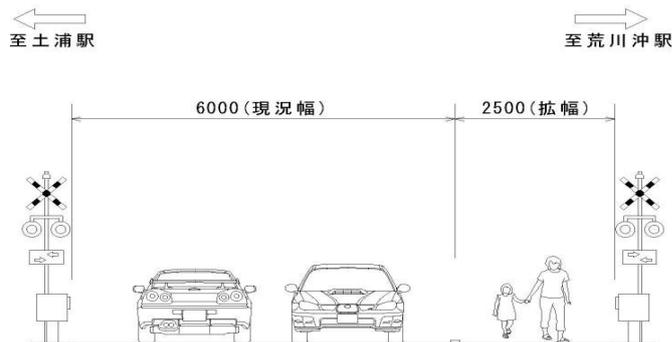
- ・踏切内に歩道を整備し道路機能の向上を図り，市民の安全と交通事故防止を図りました。

[平成22年度]

財源内訳 国県支出金 0円 市債 99,300千円 一般財源 9,601千円
(単位：千円)

区分	事業費	概要
工事委託料(JR)	94,143	1件 延長31m
工事請負費	10,469	1件 延長106m W=6.5~10.5m
公有財産購入費	980	A=39㎡
補償補填及び賠償金	3,309	
計	108,901	

J R 常磐線内横断図



摩利山踏切

【施策の成果】

用地取得及び物件補償をすることにより，用地が確保され，踏切歩道新設事業の整備促進を図りました。

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

施策名	道整備交付金事業（虫掛66号線外・新治南314号線）		
施策体系名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	204,845千円	財源内訳	国県支出金等 178,792千円 一般財源 26,053千円

【施策の概要】

- 旧新治地区からのアクセス道路として、日常生活の利便性の向上及び生活環境の改善を図りました。

[平成22年度]

財源内訳 国県支出金 113,105千円 市債 32,900千円 一般財源 4,090千円
(単位：千円)

区分	事業費	概要
公有財産購入費	9,043	A= 1,257m ²
工事請負費	138,718	6件 延長 1,097m W=9.0m
補償補填及び賠償金	1,019	2件 工作物等
事務費	1,315	
計	150,095	

[平成21年度からの繰越]

財源内訳 国県支出金 9,887千円 市債 22,900千円 一般財源 21,963千円
(単位：千円)

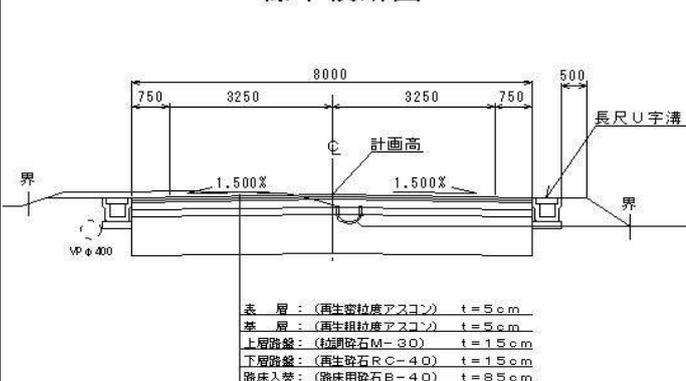
区分	事業費	概要
工事請負費	54,750	6件 延長 451m W=9.0m
計	54,750	

[平成23年度への繰越]

財源内訳 国県支出金 44,895千円 市債 21,100千円 一般財源 1,203千円
(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	4,557	基礎調査
工事請負費	62,641	6件 延長 1,097m W=9.0m
計	67,198	

標準横断面図



【施策の成果】

用地取得及び物件補償することにより、用地が確保され、一部拡幅改良工事を実施し、主要幹線道路の整備促進を図りました。

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

施策名	橋梁耐震対策及び橋梁長寿命化修繕計画策定事業		
-----	------------------------	--	--

施策体系名	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり		
-------	-----------------------------	--	--

決算額	78,798千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源	78,798千円
-----	----------	------	--------	------	----------

【施策の概要】

◎ 橋梁耐震対策事業

[平成22年度]

財源内訳 一般財源 2,480千円 (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
常磐線2号橋（三番橋） 耐震補強工事（JR委託）	2,480	耐震補強工事 2箇所
計	2,480	

[平成21年度からの繰越]

財源内訳 一般財源 72,748千円 (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
江戸崎こ線人道橋（荒川沖人道橋）耐震補強工事	72,748	耐震補強工事，塗装工

[平成23年度への繰越]

財源内訳 一般財源 34,583千円 (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
常磐線2号橋（三番橋） 耐震補強工事（JR委託）	32,819	耐震補強工事 2箇所
東真鍋1号橋（木田余立体橋）耐震補強実施設計委託	1,764	橋脚耐震補強設計（対象橋脚5基）
計	34,583	

◎ 橋梁長寿命化修繕計画策定事業

財源内訳 一般財源 3,570千円 (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
基本計画策定	3,570	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化修繕計画の目的明確化 ・全橋梁の傾向分析 ・管理方針の検討
計	3,570	



江戸崎こ線人道橋（荒川沖人道橋）



常磐線2号橋（三番橋）

【施策の成果】

耐震補強工事により，橋梁の耐震性の向上を図りました。

また，橋梁長寿命化修繕計画策定事業のための基本計画を策定したことにより各種データを収集することができました。

款	土木費	項	河川費
施策名	都市下水路整備事業・小規模排水路整備事業		
施策体系名	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり		
決算額	191,270千円	財源内訳	国県支出金等 184,700千円 一般財源 6,570千円

【施策の概要】

- ◎大岩田都市下水路整備工事
- ◎天川上高津都市下水路整備工事（U1500×1500 L=43m）
- ◎神立菅谷都市下水路整備工事（4000×2700 L=38m）
- ◎西根竹の入都市下水路整備工事（U2400×1900 L=50m）
- ◎宍塚小規模排水路整備工事（U300×300 L=243m）

[平成22年度] (単位：千円)

区分	事業費	概要
整備費	78,747	5件

[平成23年度への繰越] (単位：千円)

区分	事業費	概要
整備費	64,295	4件

[整備状況]

神立菅谷都市下水路整備工事



[着工前]



[完成]

【施策の成果】

4路線の都市下水路整備及び1路線の小規模排水路整備を行い，市民の生活環境の向上を図りました。

款	土木費	項	都市計画費
施策名	地域公共交通活性化・再生総合事業		
施策体系名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	7,202千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 7,202千円

【施策の概要】

○目的

高齢者等の交通弱者への対応及び環境負荷の小さい交通体系の構築を図るため、市民・事業者・行政の役割・責任を明確にしつつ、既存の公共交通網の一体的な連携・活性化施策について検討を進め、利用しやすい魅力ある公共交通体系を提供することを目的とします。

○事業内容

地域・住民、企業、交通事業者、行政の連携のもと、土浦市地域公共交通活性化協議会が事業主体となり、次の施策を実施しました。

- ・コミュニティ交通運行計画策定
- ・公共交通案内ホームページ作成
- ・公共交通案内パンフレット作成
- ・市民モニターによるバス評価
- ・土浦駅西口公共交通案内板設置



公共交通案内ホームページ



公共交通案内パンフレットのの一部

○土浦市から土浦市地域公共交通活性化協議会への負担金 7,202千円

○土浦市地域公共交通活性化協議会 事業費内訳

・歳入

(単位：千円)

区分	22年度事業費	23年度への繰越	概要
負担金	7,202	0	市負担金
補助金	0	0	
諸収入	101	0	広告収入、預金利子
合計	7,303	0	

・歳出

(単位：千円)

区分	22年度事業費	23年度への繰越	概要
事業費	1,792	5,164	運行計画作成委託料等
会議費	347	0	委員報償費等
事務費	0	0	
合計	2,139	5,164	

【施策の成果】

「土浦市地域公共交通総合連携計画」に位置づけた各種施策を各事業者が実施することで、利便性の高い魅力ある公共交通体系の構築を図ります。

特に、公共交通不便地域を解消するコミュニティ交通導入については、公募により運行地区を募集し、応募のあった3地区の運行計画を策定しました。平成23年度からは、この運行計画に基づいて試験運行が実施されます。

款	土木費	項	都市計画費
施策名	特定幹線道路整備調査事業		
施策体系名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	5,628千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 5,628千円

【施策の概要】

○目的

平成17・18年度に実施した「土浦市総合交通体系調査」における優先整備路線の計画的な道路整備を進め、幹線道路網交通体系を確立します。

優先整備路線の荒川沖木田余線は、早期4車線化整備が必要ですが、4車線化までには期間を要することから、現在の道路幅員内で暫定3車線化を行い、交通混雑の緩和を図ります。

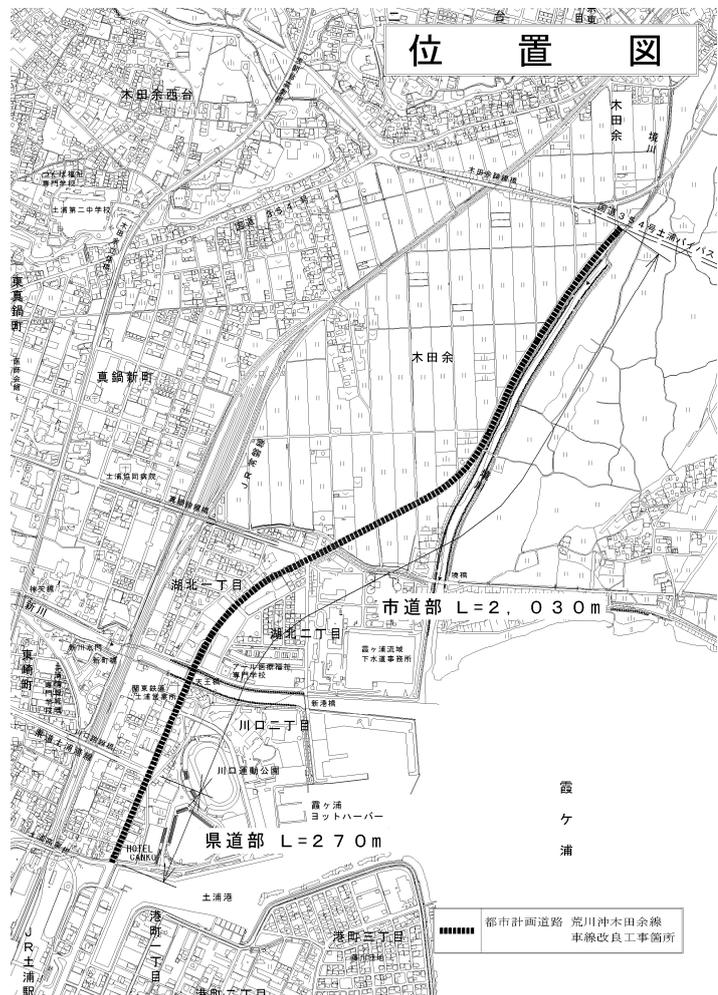
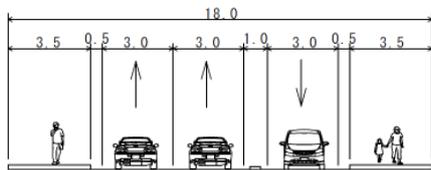
○事業内容

- ・都市計画道路荒川沖木田余線暫定3車線化事業

実施設計委託等を実施
 実施設計延長 L=2.3km
 交差点計画設計 6箇所

- ・事業費
 委託料 5,628千円

暫定三車線標準横断図



【施策の成果】

暫定3車線化工事のための設計図書を、茨城県警察本部及び道路管理者等との協議を踏まえつつ作成し、平成23年度からの工事に向けた資料を整えました。

平成23年度は、その成果に基づき工事を実施し、交通混雑の緩和を図ります。

款	土木費	項	都市計画費
施策名	バリアフリー推進事業		
施策体系名	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり		
決算額	43,839千円	財源内訳	国県支出金等 1,100千円 一般財源 42,739千円

【施策の概要】

○目的

土浦市バリアフリー基本構想に基づき、バリアフリー化を図るために必要な特定事業を実施し、総合的なバリアフリー化の促進を図ることを目的とします。

○事業内容

利用者、事業者、行政の連携のもと、次の施策を実施しました。

・土浦駅西口広場エレベーター設置工事	繰越
・障害者対応乗降場整備（土浦駅東口・西口，荒川沖駅東口・西口）	繰越
・土浦駅ビル内エレベーター誘導	継続して実施
・バリアフリー推進協議会での進行管理	継続して実施



土浦駅西口エレベーター設置イメージ



障害者対応乗降場（土浦駅東口）

○バリアフリー推進事業 事業費内訳

（単位：千円）

項目	区分	22年度事業費	23年度への繰越	概要
土浦駅西口エレベーター設置工事	委託料	1,187	830	設計・監理
	工事請負費	27,600	43,095	
	役務費	48	0	建築許可
障害者対応乗降場整備	委託料	1,365	0	設計
	工事請負費	7,959	6,843	
土浦駅ビル内エレベーター誘導	委託料	5,158	0	
バリアフリー推進協議会運営	報償費	90	0	委員報償費
	需用費	3	0	飲物代
	委託料	395	0	運営業務
	使用料及び賃借料	34	0	駐車場代
合計		43,839	50,768	

【施策の成果】

障害者対応の乗降場を駅へと接続する場所に設置することで、車椅子利用者等のJRの利用及び東西自由通路の通行が容易になりました。

また、エレベーターの設置により、さらなる利便性の向上を図ります。

これらの施策は、バリアフリー推進協議会で適切な管理を行い、当事者参画を推進することによって、より利用者のため役立つものになりました。

款	土木費	項	都市計画費
施策名	神立駅西口地区土地区画整理事業		
施策体系名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	7,573千円	財源内訳	国県支出金等 2,980千円 一般財源 4,593千円

【施策の概要】

◎事業の概要

神立駅西口地区において、西口駅前広場及び神立停車場線等の都市施設整備を、土地区画整理事業により一体的に行い、駅前にふさわしい市街地を形成します。

- ・地区面積 約2.2ha（土浦市 約1.3ha，かすみがうら市 約0.9ha）
- ・権利者 38人（土浦市 25人，かすみがうら市 13人）
- ・都市施設概要 西口駅前広場 約4,800㎡
都市計画道路神立停車場線W=18～22m，L=約40m
都市計画道路神立駅前西通り線W=12～15m，L=約210m
都市計画道路神立駅東西自由通路線W=6m，L=約40m

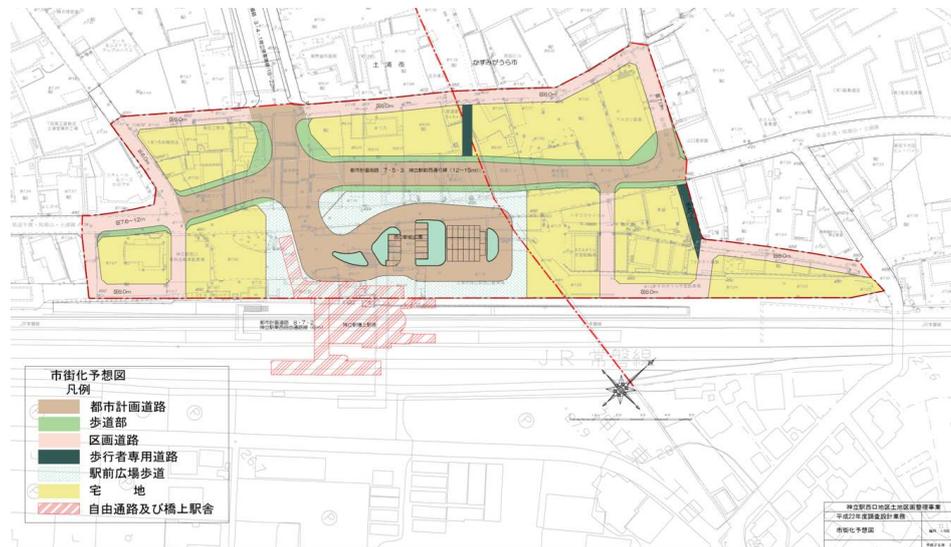
◎事業経過

平成18年度 神立駅西口地区土地区画整理事業B調査
平成19年度 神立駅西口地区土地区画整理事業想定換地計画策定
平成21年度 神立駅西口地区土地区画整理事業事業化検討調査
平成22年度 神立駅西口地区土地区画整理事業事業化検討調査
(費用便益分析業務・一部事務組合例規整備支援業務・コーディネート業務)
神立駅東西自由通路線及び神立駅舎設計計画検討業務

[事業費内訳]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	7,445	事業化検討調査
負担金	62	一部事務組合負担金
事務費	66	需用費等
合計	7,573	



神立駅西口地区土地区画整理事業市街化予想図

【施策の成果】

平成23年1月25日に土浦・かすみがうら土地区画整理一部事務組合を設立し、平成23年5月19日に都市計画決定を行い、事業化に向けて大きく進捗しました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

施策名	街路事業		
施策体系名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	136,329千円	財源内訳	国県支出金等 104,700千円 一般財源 31,629千円

【施策の概要】

◎木田余神立線

木田余土地区画整理事業地内から神立工業団地（神立配水場）までの区間を整備し、市北部地域における円滑な交通動線を確保することで、南北軸の強化を図ります。

①事業期間：平成15～23年度 ②整備延長L=800m，整備幅員W=12～16m
[平成22年度] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事	70,960	地盤改良，橋梁下部，路盤工事L=740m
委託料	368	詳細設計
事務費	176	鑑定料
合計	71,504	

[平成23年度への繰越] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事	77,615	平成22年度の繰越工事
用地	12,329	619.53㎡
補償	4,987	工作物・電柱移設等
合計	94,931	

<位置図>



◎川口下稲吉線

交通渋滞の解消を図るため、現況の道路用地幅（W=20m）全てを有効利用し、右折レーンの延伸や駐車帯の幅員を広く確保します。

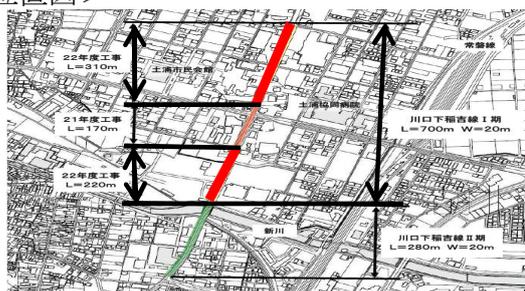
①事業期間：平成20～22年度 ②整備延長L=700m，整備幅員W=20m
[平成22年度] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事	33,720	車道拡幅・歩道整備L=525m
合計	33,720	

[平成23年度への繰越] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事	60,690	平成22年度の繰越工事
合計	60,690	

<位置図>



【施策の概要】

◎川口田中線

Ⅱ期分として整備を進めてきました，ホテルマロウド前交差点から国道354号交差点（城北町）までの区間（延長L=296m）について，平成21年5月に供用開始しました。引き続き，国道354号交差点（城北町）から土浦警察署西側交差点までをⅢ期分として整備することで，川口田中線全線の開通を図ります。

①事業期間（Ⅲ期）：平成21～25年度 ②整備延長L=469m，整備幅員W=16m

[平成22年度]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
用地	5,974	19,035㎡，7筆
補償	23,377	建物・工作物等
工事	1,754	交通安全施設工等
合計	31,105	

[平成23年度への繰越]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
用地	27,459	平成22年度の繰越
補償	66,470	
合計	93,929	

<位置図>



供用開始（Ⅱ期）

【施策の成果】

交通アクセスが向上し，中心市街地及び周辺地区の交通混雑が緩和されるとともに，歩道整備による安全な歩行者空間の確保を図るなど，円滑で快適な交通体系を構築します。

款	土木費	項	都市計画費
施策名	朝日トンネル整備事業		
施策体系名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	167,405千円	財源内訳	国県支出金等 166,550千円 一般財源 855千円

【施策の概要】

- ・全体整備計画延長（石岡市柴内～土浦市大志戸）
L=3,660m（土浦市側L=1,637m）
※うちトンネル部L=1,784m（土浦市側L=732m）
- ・事業期間 平成19年度～24年度

[平成22年度]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
工事	41,134	道路改良工事，流末水路整備
委託（県）	115,000	トンネル本体工事
委託（県）	8,500	環境調査（生態・植物・水文）・設備設計
委託（市）	2,040	取付道路測量及び実施設計
用地	429	53㎡，1筆
補償	302	立竹木
合計	167,405	

[平成23年度への繰越]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
工事	4,519	平成22年度の繰越工事
委託（県）	385,000	トンネル本体工事
委託（県）	14,500	環境調査（生態・植物・水文）・設備設計
委託（市）	5,457	取付道路測量及び実施設計
合計	409,476	



位置図



工事中（トンネル坑口）

【施策の成果】

朝日峠を走行性・安全性に優れた、トンネル構造の新たな道路として整備することで、移動時間の短縮や広域的な交通アクセスを向上させるとともに、周辺地域との連携強化を図り、観光振興や産業振興などを促進することにより、新治地区と中心市街地など他地区との均衡ある発展に寄与するものです。

款	土木費	項	都市計画費
施策名	公園・緑地の整備事業		
施策体系名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	54,272千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 54,272千円

【施策の概要】

◎公園トイレ更新等工事

公園トイレの老朽化に伴い、故障が頻発するなど利用者に支障をきたしていることから、トイレの改修及び更新工事を実施しました。

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
霞ヶ浦総合公園トイレ改修工事	15,509	多目的トイレの設置等 3箇所
乙戸沼公園トイレ更新工事	9,020	汲み取りから水洗トイレに更新
乙戸南公園トイレ更新工事	5,092	老朽化に伴うトイレ更新
合 計	29,621	



施工前



施工後

◎公園遊具更新改修工事

平成20年度に公園遊具の安全点検調査を実施した結果、危険と判断された遊具のうち、乙戸沼公園外65公園の遊具（滑り台・ブランコ・鉄棒等）80基を撤去し、新たな遊具16基を設置するとともに修繕を実施しました。

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
遊具更新等工事	24,651	遊具撤去・設置・修繕
合 計	24,651	



施工前



施工後

【施策の成果】

公園施設の老朽化したトイレの改修を行ない、利便性を高めることにより、快適な都市空間を形成しました。

また、「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」に基づき、公園遊具の点検と更新・改修を行ない安全性を高めることにより、遊具による事故等を未然に防止することができ、安心・安全な公園の利用に寄与しました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

施策名	乙戸沼公園整備事業		
-----	-----------	--	--

施策体系名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
-------	-------------------------------------	--	--

決算額	85,949千円	財源内訳	国県支出金等	75,340千円	一般財源	10,609千円
-----	----------	------	--------	----------	------	----------

【施策の概要】

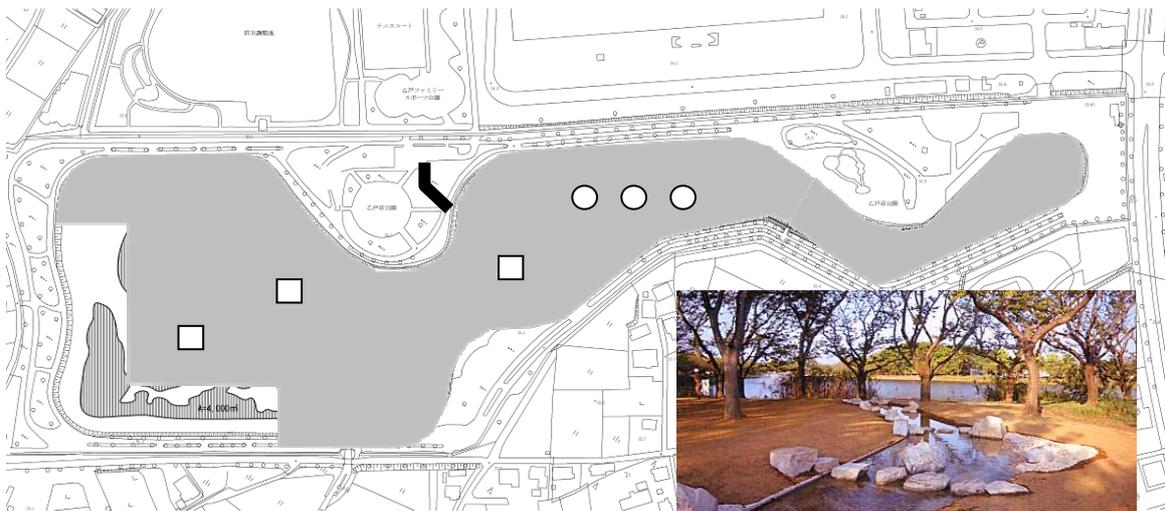
◎乙戸沼水質浄化事業

乙戸沼の水面ほとんどを覆っている睡蓮を除去し、合わせて井戸（水の流れ）の設置による新たな水源の確保，更には噴水や水循環機の設置工事を実施しました。

(単位：千円)

区分	H21事業費	H22事業費	概要
水質浄化設計委託	5,460	0	実施設計
水質浄化施設設置工事	12,000	19,762	噴水3機，循環装置3機，導水路1箇所
睡蓮除去工事	40,000	66,187	睡蓮等除去 44,000m ²
合計	57,460	85,949	

<位置図> ○噴水 □循環機 ■導水路 ■睡蓮等除去



水質浄化施設（導水路）



除去前



除去後（噴水設置）

【施策の成果】

景観や水質の改善を図ることで、乙戸沼公園が多くの来園者に親しまれるよう、健康づくりや安全な遊び場としての快適な公園機能の充実を図りました。

款	土木費	項	都市計画費
施策名	常名運動公園・常名虫掛線整備事業		
施策体系名	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり		
決算額	5,173千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 5,173千円

【施策の概要】

◎常名虫掛線街路事業

運動公園進入路として、また市街地と国道125号線を結ぶ幹線道路として整備を図ります。
都市計画決定延長L=2,000m (区間内訳 市道部L=1,310m 県道部L=690m)

①事業期間：平成22～26年度 ②整備延長L=1,310m, 幅員W=16m

[平成22年度] (単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	4,730	路線測量, 詳細設計, 流末検討
合計	4,730	

[平成23年度への繰越] (単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	20,072	平成22年度の繰越
合計	20,072	

<位置図>



◎常名運動公園整備事業

第7次土浦市総合計画の見直し方針に基づき、川口運動公園及び新治運動公園を含めた3つの運動公園について、市全体の運動施設の配置や連携、さらには効率的な施設運営等、市民のスポーツ・レクリエーションの多様なニーズに対応するため、基本計画の見直しを行いました。(見直しが完了しなかったため、平成23年度に繰り越しました。)

(土浦市常名運動公園整備等基本計画見直し検討委員会を設置し、4回開催しました。)

[平成22年度] (単位：千円)

区分	事業費	概要
報償費	443	委員報償費
委託料	0	基本計画見直し業務委託
合計	443	

[平成23年度への繰越] (単位：千円)

区分	事業費	概要
報償費	113	委員報償費
委託料	3,990	基本計画見直し業務委託
合計	4,103	

【施策の成果】

常名・虫掛地区における円滑な交通動線の確保を図るとともに、常名運動公園へのアクセス道路としての役割を果たします。

また、常名運動公園整備事業については、常名・川口・新治の3つの運動公園の施設配置を、基本計画見直し検討委員会を設置し、市民の意向や需要を踏まえつつ見直すことにより、機能分担と効率的運用が図られます。

款	土木費	項	住宅費
施策名	公営住宅管理運営事業		
施策体系名	人と環境にやさしい循環型社会づくり		
決算額	136,847千円	財源内訳	国県支出金等 35,680千円 一般財源 101,167千円

【施策の概要】

- ◎都和住宅エレベーター設置工事
- ◎都和住宅耐震診断
- ◎中村住宅バルコニー手摺り（パネル）修繕工事
- ◎都和住宅防護フェンス設置工事
- ◎竹の入住宅屋根改修工事
- ◎中高津住宅受水槽設備改修工事

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
都和住宅エレベーター設置工事	63,357	都和（中耐）住宅4号棟40戸 6人乗り1基エレベーター
都和住宅耐震診断	7,770	都和（中耐）住宅1・2・3号棟耐震 診断
中村住宅バルコニー手摺り（パネ ル）修繕工事	11,760	中村住宅バルコニー手摺りパネル 2号棟5階建40戸パネル150枚交換
都和住宅防護フェンス設置工事	8,820	都和テラス周辺フェンス交換 L=374m
竹の入住宅屋根改修工事	27,164	4棟20戸金属板葺
中高津住宅受水槽設備改修工事	17,976	鋼板製の受水槽24m ³
合 計	136,847	



都和住宅エレベーター設置工事

【施策の成果】

経年劣化により腐食が著しいバルコニーの手摺りパネル，防護フェンス，受水槽などの修繕を行い，また，竹の入住宅は屋根瓦を金属板に葺き替え，併せて耐震補強を実施し，入居者が安全で安心して生活できる快適な居住環境の整備を行いました。